

貼り合わせ工程

カートン製造工場で印刷・打抜されたカートンは貼り合わせ工程を経て梱包・出荷される。その後、牛乳工場や飲料工場で牛乳、乳飲料、果汁飲料、清涼飲料が充填される。

貼り合わせ工程ではフレームシーラーという機械を使い、印刷・打抜きされた平らな状態のカートンを筒状に貼り合わせる作業を行う。フレームシーラーは、カートン表面のポリエチレンをガス炎で融解し、熱で溶けた両面のポリエチレンを圧

着させる。
このように、貼り合わせ工程では接着剤をいっさい使わないのが紙パックの特長である。
また、果汁飲料、コーヒー飲料、清涼飲料などの浸透性の高い内容液に対しては、スカイプ

(skive=薄く削る)加工という貼り合わせの一部を削り取り折り返す加工がある。紙の端面が内容物に触れない為、衛生的且つ長距離輸送しても漏れにくい工夫もされている。

参考図書：株日本評論社「紙パック宣言」

